

平成 29 年度広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第 1 回運営委員会 会議録

日 時 平成 29 年 6 月 16 日(金) 18 時 00 分～20 時 00 分

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)南棟 4 階協議室

出席者 (委 員) 柿本委員長、脇谷副委員長、阿部委員、東委員、弘中委員

(プラザ) 谷川館長、中森主任

議事及び会議要旨

館長挨拶:平成 29 年度、館長及び主任が人事異動により変わったが、運営委員の皆様には変わらず、ご意見・ご提案をいただきながら、施設の運営を進めていきたい。

議事 1 平成 28 年度事業報告について

事務局から、平成 28 年度事業の中で主だったものについて報告、利用者数が減少したことも報告され、意見が交わされた。

- ・ボランティアきっかけづくり講座などに参加された人が、終了後どのくらい活動に参加しているのかということが気になった
- 今回のボランティアきっかけづくり講座は、竹屋公民館と共催で樹木ボランティア講座を行ったが、講座終了後、参加者がボランティアグループに加入されたということを知っている。具体的なボランティアの内容がわかる企画だったのが良かったのではないと思われる。
- ・印刷サービスの利用者数は前年度と同等になっている。作業室にある印刷機等、便利なものが入っているので皆さん便利に利用されているのだろう。
- ・ホームページ (HP) のアクセス件数は前年度と比較してどうだったのか。
- 前年度よりもアクセス件数は伸びている。大きな理由は不明だが、少しずつ閲覧しやすいように改良していることと、必要な資料等を HP からダウンロードできるようにしたことも要因ではないと思われる。
- ・HP の充実も大事であるが、最近はスマホやパソコンで利用できる様々なアプリが作られておりそういったものも活用してみてもどうか。掲載 (フェスタ等のイベントの際など)
- 利用者が便利になり活用できるようなら、アプリや SNS などの利用も考えていきたい。安全性の問題もあるので、少し勉強したうえで考えていきたいと思う。
- ・まちかどサロンの利用者がなかなか伸びていない。ロビーの活用方法 (コーヒーが飲めるカフェ的な空間や癒される空間の創出) なども考えいくとよいのではないかと。
- 限られたスペースであるが、チラシや資料を読むだけでなく憩えるスペース作りを考えていきたいと思う。
- ・事務局より利用者数が減っているとあったが、事業や利用団体など増えているところもある。やはり気軽に立ち寄れる雰囲気作りや行事などを開催して周知していくことが大事だと思う。

議事2 平成28年度利用者アンケート結果について

事務局から、平成28年度末に広島市が行った利用者アンケートの結果について報告し、意見が交わされた。

- 満足度は前年並みで満足と答えた方が70パーセント以上、20～30歳代の利用が若干増加している。
- 今回のアンケートから入っていた、情報資料コーナーの運営についての設問についても満足と回答した方が多かった。
 - ・アンケートをとる時期は理由があるのか？お正月明けの特殊な時期であるためもう少しよい時期はないものか？
- 広島市のやるアンケートは年度の終わりが多いが、プラザ独自で他の時期に行うこともできると思う。
 - ・プラザのことを知った理由としては、知人の紹介などが多いので、周知する手段として、やはり口コミという手段が大きいのだと思う。
- フリースペースの利用などは、人から聞いて初めて使ったという方が多い。
 - ・サービス内容、職員の態度、清掃についての満足度が70パーセント以上というのは良い。
 - ・プラザは街中にあり交通の便がよいので、そこをPRしていくことが大切である。

議事3 平成29年度事業計画について

事務局から、平成29年度事業計画について説明があり、意見が交わされた。

- ・パソコン講座の講座数が減っているということだが、どういう理由なのか？
- パソコン講座は長年、ICTボランティアの団体と連携して開催してきているが、団体数や団体内のスタッフ数が減少し、以前のような講座数を開催できなくなってきている。
 - ・最近ではスマートフォン等の普及でパソコンを利用しなくなってきており、時代の流れに対応する講座を開催していくことも大切である。(スマートフォンの講座など)。
- パソコン講座は、1講座あたりの参加者数が増えてきている。28年度からメールでの申し込みを開始したことが要因ではないかと思う。
- メールでは届かなかったり、誤送信なども多い為、HP内に申込フォームを作成することを検討している。
 - ・託児サービスの利用者数がゼロなのは申し込みがなかったからか。
- 夜間以外のパソコン講座については、参加者が託児サービスを利用できるよう準備はしているが、昨年度は希望者がいなかった。今年度も準備はしている状態である。
- 託児サービスを受けられることをPRする必要はあると思う。
- 託児を引き受けてもらえる方の確保が難しい。
 - ・最近では若い人が、学ぼうという意識が低くなって来ているように思う。
 - ・フェスタなどで大学生の参加も増えてきているので、どんどん呼びかけていけると良い。

議事4 まちづくり市民交流フェスタ及びフェスタ幹事役員会について

事務局から、平成29年度まちづくり市民交流フェスタの開催について説明があり、意見が交わされた。

○今年度は、10月14日(土)・15日(日)に開催

○昨年度は、まちづくりボランティア人材バンク設立20周年記念事業を同時開催したため、従来とは違う形で開催したが、今年度は元にもどる予定である。

○プラザの運営委員から、今年度もフェスタ実行委員長、副実行委員長を選出したい。

実行委員長：阿部委員、

副実行委員長：弘中委員、東委員

以上に決定

・近年、開催時期が10月～11月になっているが時期に問題はないのか？

○地域の行事やイベントなどと重ならないように配慮しているが、公民館まつりなどは重なるものもある。

・野菜などを販売するのはおかしいという意見があったが、確かに違和感を覚えた。

○フェスタは参加団体の成果発表の場であるので、野菜を売ることで、無農薬農業のPRや団体活動の成果発表になるものなら良いと思う。

野菜を仕入れてきて売るだけはフェスタの趣旨に合わないので参加方法について団体と検討する必要がある。

・ふむふむの助成団体は素晴らしい活動しているところもあるので、ふむふむのPRも兼ねて、全体の募集とは別に声をかけ、参加してもらおうとよいのではないか。

・ふむふむの助成団体の参加呼びかけなど、できるところから広げていくことが良いと思う。

○同じ財団の事業であり、声をかけていくことはできるので、積極的に参加を勧めていきたい。

・開催時間について、あまり遅い時間になっても来館者がいなくなり閑散としてしまう。

・来館者の来場しやすい時間も考えなくてはいけない。

・いろいろな地域から参加するので、開始は10時30分が限度ではないか。

・終わりは15時30分位がよいのではないか。

○土日とも10時30分から15時30分で開催ということできたいと思う。

・アンケートの中に幕間が長すぎるという意見があったが、確かに長かった。

○本来は、幕間に他の展示やイベントを見てもらうのが目的だったので、わざと長くしていたが、館内を回ってもらう工夫が必要だった。

・当日ボランティアの学生に、館内の案内係兼誘導係、フェスタのガイド(30分コースから1時間コースまで)をやってもらってはどうか。

・学生だけでなく、人材バンク、参加団体などから募集してみてもどうか。

○各所に置くのはスタッフの人数が足りなくなるかもしれないが、人数が足りる範囲で配置しておくことは可能だと思う。

○フェスタの実行委員会を8月下旬に開催したいと思うが、運営委員の皆様のご都合のよい日を教えてください。

○フェスタの第一回実行委員会は、8月22日（火）19時から開催することに決定。

（第2回実行委員会は後日決定）

【次回の運営委員会】

平成29年 9月25日（月）18時～20時 予定

閉会